

## 令和元年度訪問看護の実態調査について（案）

## 1 目的

市内訪問看護ステーションにおける看護職等の配置状況やサービス提供状況等の現状を把握し、在宅医療推進における課題の抽出及び対策の方向性等を検討していく基礎資料とするものです。

## 2 対象

市内の訪問看護ステーション 49事業所（令和2年2月時点）

## 3 調査項目・・・裏面のとおり

調査期間：12月実績ベース、平成31年1月1日～令和元年12月31日

※ 40歳以上の方（居住地不問）へのサービス提供状況について調査

## 4 調査時期及び調査方法

令和2年3月上旬 郵送にて調査票送付

令和2年3月中旬 返送締切（返信用封筒）

令和2年4月下旬 結果報告

## ※追加項目について

事業所体制、スタッフの人材確保（研修体制）、他職種・他機関との連携に関する課題をより明確にするためにいくつかの項目を追加しています。また、吹田市地域医療推進懇談会及び作業部会での議論をふまえ、ACPの理解及び実践に関する項目（ターミナルへの対応）を追加しています。そして災害が頻発している昨今の状況をふまえ、災害に備えた体制整備に関する項目も追加しています。

# 令和元年度訪問看護実態調査 質問項目(案)

※赤字が追加項目

区分	No	質問項目	選択肢	関連調査 大阪府
事業所体制	1	事業所名	事業所名	
	2	事業所の所在地	①JR以南、②片山・岸部、③豊津・江坂・南吹田、 ④千里山・佐井寺、⑤山田・千里丘、⑥千里NT・万博・阪大	
	3	事業所開設からの年数 (令和元年12月末時点)	①5年未満、②5～10年未満、③10～15年未満、④15年以上	
	4	職員の配置人数やその内訳 (令和元年12月時点) (採用者、退職者は、平成31年1月～令和元年12月の期間)	・看護職(保健師・看護師・准看護師)×経験年数、採用・退職者数 ・セラピスト(PT,OT,ST)×経験年数、採用・退職者数 ・専門、認定看護師の配置状況 ①配置している ②配置していない 配置している場合は、認定看護分野( )とその人数( )人	★
	5	看護師の求人の実施状況や その求人数 (令和2年2月時点)	①求人を行っている 求人数( )人 ②行っていない	★
	6	利用者実人数(40歳以上)と そのうちの吹田市民の人数 (令和元年12月請求時点)	介護保険・医療保険・医療介護併用者ごとの 40歳以上の利用者実人数( )人 そのうちの吹田市民の人数( )人	
	7	管理者の訪問看護従事経験年数	①1年未満 ②1年以上3年未満 ③3年以上5年未満 ④5年以上10年未満 ⑤10年以上	★
	8	管理者向け研修への参加歴	①受講したことがある ②受講したことがない	
	9	管理者が感じている事業所運営上の 問題 (該当するものすべて。その状況も 記載)	①看護師の確保の問題 ②セラピスト(PT,OT,ST)の確保の問題 ③事務職の確保の問題 ④人材育成の問題(看護の質の向上) ⑤マニュアルの整備が十分でない ⑥危機管理体制が十分でない ⑦事業所の安定的経営が難しい ⑧その他	
スタッフの 人材育成 (研修体制)	10	特定行為研修の受講者の有無	①平成27～29年度までに受講者あり ②平成30年度までに受講者あり ③令和元年度に受講者あり ④いずれもない	★
	11	大阪府訪問看護ステーション協会 主催の研修への参加状況 (該当するものすべて)	①新任、新卒訪問看護師向け ②中堅訪問看護師向け ③管理者向け ④小児分野 ⑤精神分野 ⑥緩和ケア分野 ⑦災害関連 ⑧診療報酬関連 ⑨その他	

ターミナルへの対応状況	12	過去1年間の看取りの件数 (平成31年1月～令和元年12月)	1年間の看取り患者件数( )人 (現在看取りを行っている患者及び亡くなられた患者)	
	13	ACPの実践やスキル向上に関する取組について (該当するものすべて)	<p>・ACPについて訪問看護提供の場面で実践していること</p> <p>①利用者からの価値観等の聴取 ②代理意思決定者の選定に関する支援 ③利用者、家族、医療介護関係者等での話し合いの場の設定 ④他職種とのACPに関する情報の共有 ⑤その他</p> <p>・ACPについて、スタッフのスキル向上に関する取組の有無</p> <p>①外部研修への派遣 ②職場内研修の実施 ③日々の業務の中で、学びを共有(OJT) ④スタッフの自主学習 ⑤eラーニング ⑥特に機会はない ⑦その他</p>	
他職種・他機関との連携	14	病院やケアマネジャー等との連携で課題に感じていること (該当するものすべて)	<p>・病院との連携において、課題に感じていること</p> <p>①在宅療養や訪問看護への理解 ②入退院支援時の情報共有 ③外来看護師との情報共有 ④その他</p> <p>・ケアマネジャー等との連携において、課題に感じていること</p> <p>①訪問看護への理解 ②医療的なアセスメントに関する連携 ③連携に対する意識 ④その他</p>	
	15	口腔内アセスメントに関する歯科医との連携状況	<p>①利用者の口腔内アセスメントが行われ、必要な方には歯科医との連携がとれている</p> <p>②利用者の口腔内アセスメントは行われているが、必要な方に対する歯科医との連携はあまりとれていない</p> <p>③利用者の口腔内アセスメントはあまり行われていない</p>	
	16	服薬管理に関する薬剤師との連携状況	<p>①服薬管理が必要な利用者について、状況に応じて薬剤師との連携がとれている</p> <p>②服薬管理が必要な利用者について、薬剤師との連携はあまりとれていない</p>	
	17	病棟看護師と訪問看護師との連携の取組に対する意向 (該当するものすべて)	<p>①病棟看護師の訪問看護事業所への出向の受入れ</p> <p>②病棟看護師の訪問看護事業所への短期間の実地研修の受入れ</p> <p>③新人や経験の浅い訪問看護師の市内病院での臨床研修</p> <p>④病棟看護師と訪問看護師の連携促進を目的とした研修会</p> <p>⑤病院の認定、専門看護師による、訪問看護師へのスキル指導</p> <p>⑥その他</p>	
災害に備えた体制整備	18	災害対策への取組状況 (該当するものすべて)	<p>・災害対策に関連した取組状況</p> <p>①事業所独自の災害対策マニュアルの整備 ②事業所における災害訓練の実施 ③災害備蓄用品の用意(発電機・蓄電池・手動吸引機) ④緊急時の利用者への連絡体制の整備 ⑤緊急時のスタッフ間の連絡体制の整備 ⑥その他</p> <p>・医療機器(※)の使用者数及びそのうちの非常用電源を確保している人数 (※)人工呼吸器(マスク、気管切開)、在宅酸素、吸引について</p>	★
在宅医療への意見	19	その他、在宅医療についての意見等	自由記載	

【関連調査】

大阪府実施：「大阪府訪問看護ステーション実態調査」平成30年4月